

～News letter～



かもみーる通信



46号 2014年4月

トピックス

- *インターネットによる在宅研究支援システム
- *ランチタイム
カモミール・カフェ
- *なでしこ教養セミナー
- *カモミール月曆
(室長からのメッセージ)
- *新室員紹介
- *ソロプチミスト岐阜賞
- *保育園たより

多様性人材活力発揮に向けての 男女共同参画推進！

男女共同参画推進室長
林 正子

2014年度の幕開け、皆さんにおかれましては、お忙しいなかにも充実した日々をお過ごしのことでしょう。開設5年目を迎えた岐阜大学男女共同参画推進室も、新体制での活動を開始しました。5学部・保健管理センター・特任の教員及び人材開発部長から成る室員メンバーと、人材開発部職員育成課のスタッフが中心の担い手となつてのさまざまな取り組み、「行動計画」に則った活動やご利用いただける制度等、今年度も、ニュースレター「かもみーる通信」で紹介してまいります。

岐阜大学男女共同参画推進室のシンボル花は、野に咲く「カモミール」——「親交」「逆境に負けない強さ」の花言葉のごとく、一人ひとりの構成員が、「性別に関わりなく個性を尊重し能力を発揮できる大学」の実現をめざします。引き続き、皆さんのご支援、ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

男女共同参画推進室員



林 正子
副学長・室長
地域科学部 教授
担当：総括、地域連携



久保 倫子
教育学部 助教
担当：学童保育、
関連授業、セミナー



和佐田 裕昭
地域科学部 教授
担当：インターネット
による在宅研究支援システム



清島 真理子
医学系研究科 教授
担当：学童・病児保育、
研究補助員配置制度



新村 昌治
工学部 准教授
担当：シンポジウム、
セミナー



田中 逸夫
応用生物科学部 教授
担当：サイエンス夢追
い人育成プロジェクト



西尾 彰泰
保健管理センター
准教授
担当：メンター制度、
生涯支援プログラム



松井 真一
特任助教
担当：コーディネート、
各種相談対応



殿崎 雅弘
人材開発部長
担当：学生アシスタ
ント、女性管理職の
比率向上

インターネットによる在宅研究支援システム（テレワークシステム） 利用者募集のお知らせ

インターネットによる在宅研究支援システム（テレワークシステム）は、学外からVPN接続を利用して学内専用HPにアクセスできるようにすることで、育児や介護等により研究時間の確保が困難な研究者が育児や介護等と研究との両立を図ることを目的とするものです。

利用対象者は次のとおりです。

- (1) 小学校6年生までの子どもをもつ研究者
- (2) 妊娠中の体調不良により、研究活動等の遂行に支障がある女性研究者
- (3) 市町村から要介護、要支援、障害者の認定を受けている親族について、主たる介護・看護者が申込者自身である研究者

男性研究者の方も
利用できます！

男女共同参画
推進室HP
から

「テレワークシステム
による在宅研究支
援」をクリック

インターネットによ
る在宅研究支援シ
ステム利用申請書」を
ダウンロード

申請書に必要事項
を記入して、男女
共同参画推進室に
提出



利用申請が認められた方には、IDとパスワードを発行します。
IDおよびパスワードについては、男女共同参画推進室において
直接受け取ることを原則としています。

＊本制度は、産前産後休暇、育児休業中の者に当該期間における研究を強いるものではありません。
利用については、体調に配慮をしながら無理のない範囲でご利用ください。

ランチタイム カモミール・カフェを開催しました

4月14日（月）にランチタイム カモミール・カフェとして「サイエンス夢追い人育成プロジェクト（女子大学院生による出前講義）説明会」を開催し、大学院生6名の参加がありました。

今回のランチタイム カモミール・カフェでは、今年度のサイエンス夢追い人育成プロジェクト（女子大学院生による出前講義）に関心のある学生を対象に、出前講義の目的や当日までの準備方法の説明と昨年度に講師を務めた大学院生から講義の作り方について紹介がありました。



サイエンス夢追い人育成プロジェクト（女子大学院生による出前講義）は、昨年度までに計14校の小中高等学校で、のべ50回開催しています。講師の登録は随時行っています。研究室所属の女子大学院生で、子どもたちに向けた研究紹介や進路選択についての講演を行うことに関心をお持ちの方がいましたら参加の呼びかけをお願いします。

サイエンス夢追い人育成プロジェクト（女子大学院生による出前講義）の詳細については、男女共同参画推進室HP内の「女子大学院生による出前講義」をご覧ください。



ネットワーク大学コンソーシアム岐阜（GUC） 「女性の活躍 なでしこ教養セミナー2014」が始まりました

—岐阜大学女性教員リレー講義—

4月26日（土）、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の共同プログラム「女性の活躍 なでしこ教養セミナー」が始まりました。岐阜大学の女性教員10名による、それぞれの専門分野を活かしたリレー講義（全10回）は、コンソーシアム加盟大学の学生、とくに女子学生に対しては、女性研究者としてのロールモデルを提示するとともに、教職員と一般市民の方々には、幅広い知識を涵養する教養講座としての機会を提供することを趣旨としています。

第1回は、男女共同参画推進室長の林正子副学長（日本近代文学専攻）が、「近代日本における女性解放の先駆者——岸田俊子の愛と革命——」と題して、明治10年代に自由民権運動家として女性の権利を謳った岸田俊子（1861～1901）を紹介しました。岸田俊子は女性の権利を認めない社会批判の演説で、集会条例違反・官吏侮辱罪の嫌疑によって拘引・留置された女性活動家ですが、自由党副総理であった中島信行と結婚後は、中島湘烟のペンネームで、女性の生き方に関わる小説・評論を発表し、論壇での注目を浴びました。講義では、近代日本最初のフェミニスト、「自由民権の華」であった岸田俊子（中島湘烟）の人生行路や、その男女相愛の思想「愛憐」の具体的内容について紹介。岸田俊子（中島湘烟）の「同胞姉妹に告ぐ」思想が、彼女の創作活動にいかに関与されたか、また、実際の結婚生活で、その思想がいかに関与されたかについて論じ、「恋愛」にもとづく男女同権論の理想的先駆性と実践的連続性を明らかにすることに努めました。本講義が、28名の参加者の方々にとって、現代日本で「女性の活躍」が求められている必然性や、男女共同参画社会のあり方について考える契機となったことを願っています。



岸田俊子

第2回「なでしこ教養セミナー」は、5月17日（土）14：00～15：30 にハートフルスクエアGで開催されます。医学系研究科の清島真理子教授（皮膚科学専攻）による「肌のうるおいを保つために——皮ふバリア機能と皮ふ病を知ろう——」。受講条件はありません。皆さん、どうぞ奮ってご参加ください。

★写真の出典

相馬黒光『復刻版 明治初期の三女性——中島湘煙・若松綾子・清水紫琴』不二出版



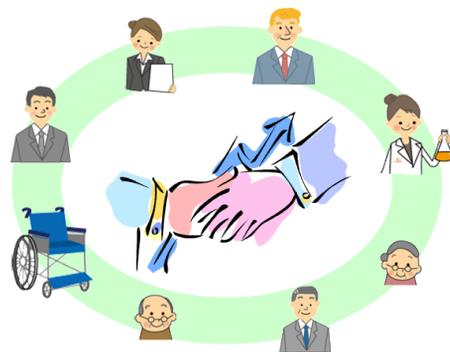
▲新任職員研修会の様子

カモミール月暦（室長からのメッセージ）

4月2日（水）医学部記念会館で、「平成26年度岐阜大学新任職員研修会」が開催されました。本研修会は、新任教職員を対象に、学長と理事・副学長がそれぞれの担当に関わる「岐阜大学の現状と目標・課題」について説明し、構成員による大学運営についての理解を深めることを趣旨としています。今年度は、新任教職員等、約70名が参加しました。

男女共同参画の取り組み紹介としては、「岐阜大学における多様性人材活力推進」として、「多様性（ダイバーシティ）の基本概念と目的」、「多様性人材のメリット」を説明するとともに、「男女共同参画社会とは／国などの施策について／岐阜大学の現状と取り組み」の各項目について説明しました。

性差・年齢・国籍・職掌の違いを超えて（違いを尊重し合って）、構成員ひとりひとりが能力を遺憾なく発揮できる大学づくりへの協同・参加を訴え、参加者の皆さんに、男女共同参画大学実現に向けての諸課題を共有していただけたことと思います。



新室員の紹介



久保倫子
教育学部 助教

このたび、教育学部の夫馬佳代子先生の後任で男女共同参画推進室員を務めさせていただくことになりました。男女共同参画について、この仕事を通じて学びを深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、私の専攻する地理学では国内外での地域調査を行いますので、子育てをしながら研究を継続するのは難しいと判断する女性研究者もいるようです。こうした話題に触れるうち、男女共同参画社会を実現するためには、女性研究者の支援体制の充実に加えて、男性も含めて若手時代の研究環境を整備していく必要があると思うようになりました。若手のうちに十分な経験を積んで研究能力を磨くことができ、さらに人生の転機（子育てや親の介護）には柔軟な働き方を選択できる環境が整備されれば、皆が安心して研究人生を描けると思うのです。そうすれば、研究者としての自信も増してくるので、教育の効果も上がるはずです。私たち若手研究者が、それぞれの能力を発揮できる環境をつくれるよう、微力ながらお手伝いしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



新村昌治
工学部 准教授

4月から男女共同参画推進室員に着任しました。私の妻は4月から課長に昇格し張り切っています。妻の扶養家族として大学院・ポストク時代の大部分（7年間）を過ごした私は、おかげで子育て・家事を思う存分楽しむことができました。岐阜大学に就職してからも授業参観には時間の自由度の大きい私が出席することが多かったと思います。我が子と接する時間が多いこと、私が作った夕食を家族がおいしい(?)と食べてくれることはなんと幸せなことでしょう。女性の社会参加と男性の家庭参加は男女共同参画の両輪であり、みんなが幸せになる道であると思っています。

私の属する工学部では、依然として女性教員は少なく（約5%）、女子学生も少ない（約13%。平成26年度入学生は約16%に上昇）のが現状です。男女比率の数値目標を持つことも大切ですが、それは地道な取り組みによってのみ達成できるのだと思います。推進室が取り組んでいる課題が多様であるのも、そのためであると思っています。着任したばかりで、わからないことも多々ありますが、皆さんからご指導をいただきながら、室員を務めたいと思っております。よろしくお願い致します。

国際ソロプチミスト岐阜賞受賞

大学院連合農学研究科2年で男女共同参画推進室学生アシスタントの山本彩織さんが、国際ソロプチミスト岐阜賞を受賞しました。この賞は、国際ソロプチミスト岐阜の女性の活動を応援するプロジェクトに対し、学業人材ともに優秀で研究に励み、将来の社会への貢献をしているとして、その活動への努力と今後の活動を期待して贈られたものです。

ソロプチミストとは、ラテン語で「女性にとって最良のもの」を意味する奉仕団体です。

保育園たより

3月26日、学内保育園「ほほえみ」で卒園式が行われました。



卒園証書は、右手が先♪



両手で持って、おじぎ♪



小学校に行ってもガンバリます！

岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL： <http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail： sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。